

嚥下障害患者の長期咳嗽モニタリングによるむせと咳払いの分析

吉村和大（静岡大学情報学部情報科学科），
西田昌史（静岡大学大学院情報学領域），
西村雅史（静岡大学大学院情報学領域）

我々はむせと嚥下機能低下の関係に着目した嚥下障害患者の食事時の咳嗽音及び嚥下音を遠隔モニタリングできるシステムを開発し、実際に運用してきた。これまではむせによる咳嗽の回数だけに着目して嚥下機能低下を評価してきたが、嚥下障害患者のX線による嚥下造影検査時の画像を確認したところ、咳払いが食塊の下咽喉残留を示唆していることが分かった。そのため、今回、むせと咳払いの両者に着目して長期収録音を再度詳しく分析した結果、嚥下機能低下との新たな関連性が見えてきたので報告する。